

帯広市立愛国小学校 学校だより



あいこく

令和6年6月3日(月)発行 No. 6 文責 校長 合田 真晃

学校教育目標

豊かな心で協力しあえる子ども
自ら学び創造し深く考える子ども
何ごとにも進んでやりぬく強い子ども

「愛国っ子」の絆を深める1日に



今年の運動会のテーマは、『本気出せ！力合わせろ!! 愛国っ子』です。皆さんにお配りした運動会のプログラムでは、このテーマについて、児童会長の■■■■さんが、「愛国地域の皆さんで盛り上げて楽しみたいのでこの言葉を入れました。」と綴っています。長くこの地で育ってきた皆さんも、新しく愛国にやってきた皆さんも、今、愛国小に関わってくれている人全員が、紛れもない「愛国っ子」だと私は思っています。コロナ禍で失われた通常を取り戻しつつある今、本校の運動会が「愛国っ子」の皆さんの絆を深めるきっかけになれば幸いです。

子どもたち、保護者の皆さん、地域の皆さん、そして教職員とで、力を合わせて素晴らしい運動会にしたいと考えておりますので、たくさんの皆さんのご参加とお力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。



お力添えに感謝！

5月31日(金)に、本校のPTAであり同窓生でもある黒田勝史さんが代表を務めるよさこいチームの「ExclamationN」の皆さんが学校に来てくださり、子どもたちによさこいの指導を行ってくださいました。本校では、コロナ禍以前は毎年のように指導をしていただいていたということですが、今回は久々の来校ということで、子どもたちにとって大変素晴らしい刺激を与えていただきました。

この日は、帯広畜産大学の開学記念日ということで、チームに所属する畜大生の皆さんを中心に総勢23名(!)が来校してくれました。愛国小学校の児童数は現在23名ということで・・・、そうなんです、なんと！子どもたち一人一人とペアを組み、マンツーマンでの指導をしていただくことができました。たった1時間の指導ではありましたが、自分たちの踊りを見てもらって直接アドバイスももらったり、今週札幌で行われるYOSAKOIソーラン祭り本番用の踊りと、運動会で行う自分たちと同じ踊りを見せてもらったりと、大変充実した大満足の時間を過ごすことができました。最後には、アドバイスを受けてもう一度自分たちの踊りを披露しましたが、表情や動きなどにすぐに変化が現れ、チームの皆さんからもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。運動会本番は札幌でのお祭りも本番のため、直接踊りを見ていただくことはできませんが、札幌と帯広と同じ北海道の空の下で、一緒によさこいを踊り、思いっきり楽しさを味わいたいです。(新しい法被も初お披露目です。どうぞお楽しみに！)

実際の授業の様子を伝えるため、裏面は全面写真で紹介。熱気が伝わりますか？

